

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI・V・全世界株式インデックス・ファンド（愛称：SBI・V・全世界株式）」は、2025年1月27日に第3期決算を行いました。

当ファンドは、SBI・V・全世界株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、FTSE グローバル・オールキャップ・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第3期末（2025年1月27日）

基準価額	16,890円
純資産総額	52,302百万円
第3期	
騰落率	25.4%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBI・V・全世界株式 インデックス・ファンド （愛称：SBI・V・全世界株式）

追加型投信／内外／株式／インデックス型

交付運用報告書

第3期（決算日：2025年1月27日）

作成対象期間（2024年1月30日～2025年1月27日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

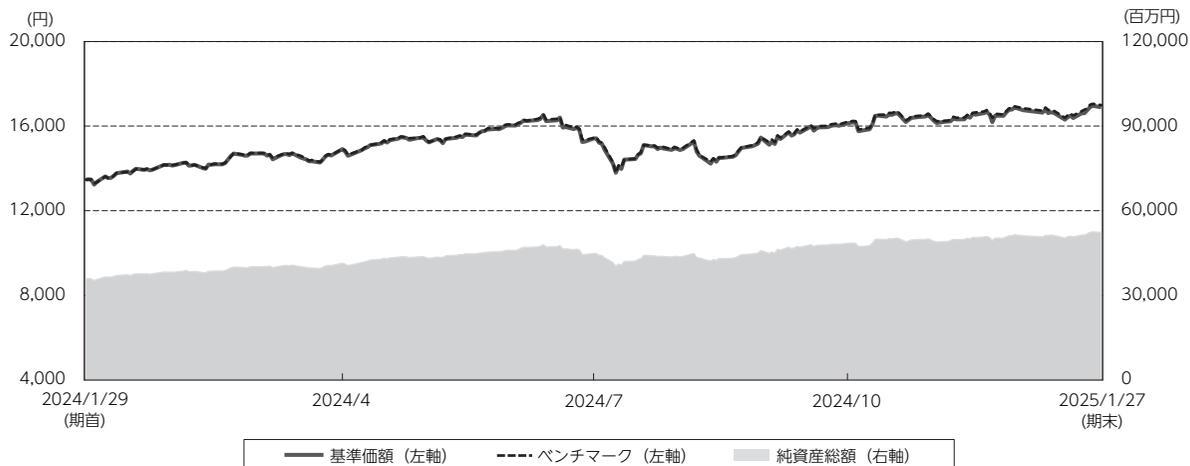
受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
<https://www.sbiasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

（2024年1月30日～2025年1月27日）



期首：13,467円

期末：16,890円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：25.4%

（注1）ベンチマークは、FTSE グローバル・オールキャップ・インデックスを委託会社にて円換算しています。詳細はP12をご参照ください。

（注2）ベンチマークは、期首（2024年1月29日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

（注3）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

（注4）ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・米国景気の軟着陸による米国金融政策の緩和への期待
- ・堅調な米国景気を背景とした企業業績の好調持続
- ・人工知能（AI）関連の半導体需要増への期待によるハイテク株高
- ・日米金利差による為替のドル高基調の継続

下落要因

- ・想定以上に堅調な米国景気による金融緩和策の後退
- ・トランプ政権の財政拡大政策によるインフレの高止まり
- ・トランプ政権の関税政策による世界経済の停滞
- ・日本政府の為替介入による円高

1万口当たりの費用明細

（2024年1月30日～2025年1月27日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	10 円	0.063 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 4 ）	（0.024）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 4 ）	（0.024）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 2 ）	（0.015）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	—	—	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	—	—	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	2	0.013	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 1 ）	（0.008）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 0 ）	（0.002）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	（ 0 ）	（0.003）	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	12	0.076	
期中の平均基準価額は、15,231円です。			

（注1）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注2）消費税は報告日の税率を採用しています。

（注3）項目ごとに円未満は四捨五入しています。

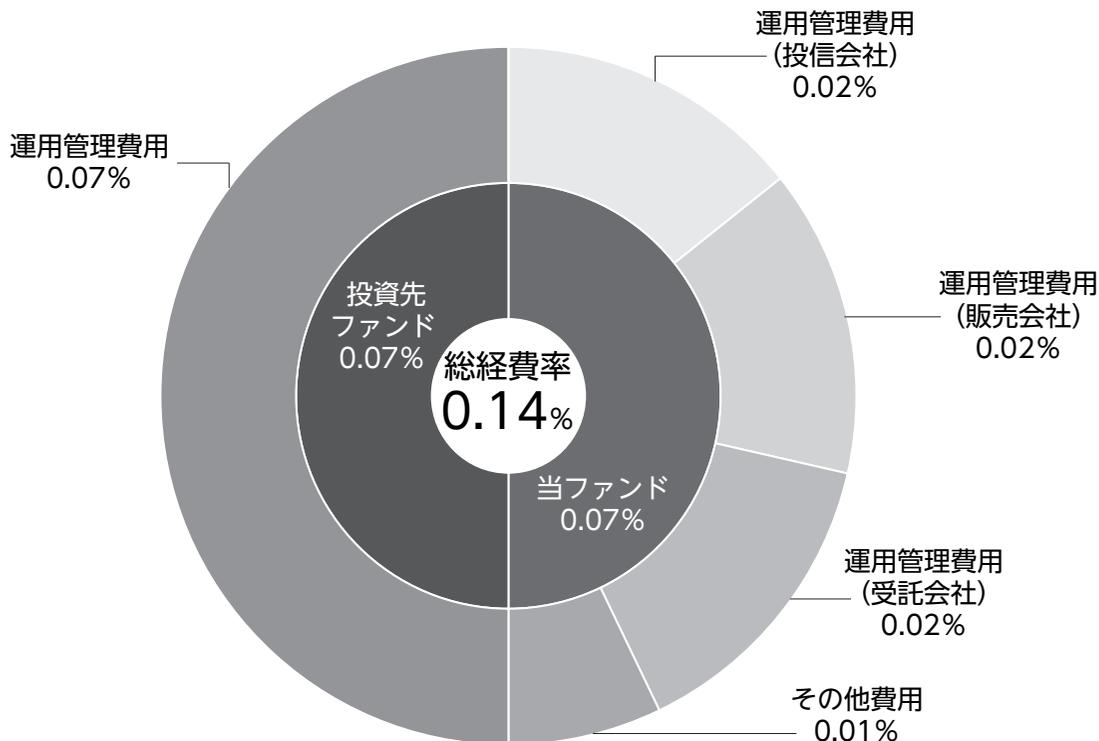
（注4）売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

（注5）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.14%です。



総経費率 (①+②)	0.14%
①当ファンドの費用の比率	0.07%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.07%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2020年1月27日～2025年1月27日）



- (注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2022年1月31日～2025年1月27日）のみの記載となっています。
 (注2) ベンチマークは、FTSE グローバル・オールキャップ・インデックスを委託会社にて円換算しています。詳細はP12をご参照ください。
 (注3) ベンチマークは、設定日（2022年1月31日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
 (注4) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。
 (注5) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

	2022年1月31日 設定日	2023年1月27日 決算日	2024年1月29日 決算日	2025年1月27日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,356	13,467	16,890
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	3.6	30.0	25.4
ベンチマーク騰落率 (%)	—	4.2	31.1	26.2
純資産総額 (百万円)	3,670	18,744	35,839	52,302

- (注1) ベンチマークは、FTSE グローバル・オールキャップ・インデックスを委託会社にて円換算しています。詳細はP12をご参照ください。
 (注2) ベンチマークは、設定日（2022年1月31日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
 (注3) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。
 (注4) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
 (注5) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年1月27日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

（2024年1月30日～2025年1月27日）

<先進国株式市場>

当期、先進国株式市場は上昇しました。期前半は、米半導体大手のエヌビディアの業績好調と今後の生成AI市場の拡大を期待した買いがハイテク株中心に集まる一方、米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ観測など金融政策の行方に左右される展開となりました。期後半の2024年8月には、雇用統計が想定以上に悪化したことで、米国経済への懸念が強まる中、一時急落する局面もありましたが、下旬にパウエルFRB議長が利下げを示唆したことで、買い安心感から下げ止まり、9月中旬の米連邦公開市場委員会（FOMC）において大幅な利下げを決定したことで上昇基調となりました。10月以降も、経済指標が強含むと、金融政策の大幅利下げ観測は後退しましたが、好調な企業業績が株価を下支えしました。さらに11月上旬の米大統領選挙で、トランプ氏の勝利が報道されると買いが集まり、米国株式は一段高となりました。ただ、12月のFOMCで利下げは実施されたものの、根強いインフレ圧力により、先行きの政策金利の見通しが上方修正され、株式市場は軟調な展開になりました。実際に2025年1月のFOMCでは利下げが見送られましたが、好調な企業決算を背景に押し目買いの動きも強く、S&P500種指数は6000ポイント前後の高値圏で期を終えました。

<新興国株式市場>

当期、新興国株式市場は上昇しました。期初から2024年5月中旬にかけては、米ハイテク株高につれて半導体関連株が買われるとともに、中国当局による株価支援策への期待や、インドの製造業景況感が16年ぶりの高水準に達したこともあり、上昇しました。その後も、空売り規制の厳格化や「国家隊」による株買いなどで、中国株は底堅い動きとなりましたが、8月の米雇用統計の悪化による米景気後退懸念の強まりから、リスク回避の動きで新興国株全体的に下落基調となりました。ただ、下旬にパウエルFRB議長が利下げを示唆したことで、買い安心感から下げ止まり、9月中旬のFOMCにおいて大幅な利下げを決定したことで上昇基調に転じました。さらに、中国株は大規模な景気刺激策を受け、大きく上昇しました。その後、期末にかけては、米国の長期金利の上昇やトランプ政権が掲げる関税政策から上値の重い展開となりました。

<為替>

当期、米ドル／円相場は147円台で始まりしました。2024年の年明け以降、堅調な米国経済指標により、日米金利差からドル高の動きが強まりました。日銀は3月の決定会合において大規模金融緩和策を転換し、マイナス金利を解除しましたが、円高は一時的な動きに留まり、4月後半に160円をつけたことから、日本政府は為替介入を実施し、短期的に152円前後まで円高となりました。7月月初に160円を超えると、政府は再び為替介入を実施し、月末の日銀の政策決定会合での利上げ決定により円高に転換しました。一方、米国では8月に発表された雇用統計の悪化により、FRBは大幅な利下げを実施し、9月中旬には140円を割り込む水準まで円高が進みました。ただし、10月以降は堅調な米国の経済指標から、米長期金利が上昇に転じると、再び日米金利差に着目したドル買いが優勢となり、11月上旬の米大統領選挙でトランプ氏が勝利するとドル買いが強まりました。その後、12月のFOMCで先行きの政策金利の見通しが上方修正されるとドル高になる一方、2025年1月の日銀の決定会合での利上げにより円高になるなど、日米の金融政策に左右される動きとなりましたが、通期ではドル高水準の155円近辺で期を終えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年1月30日～2025年1月27日)

<当ファンド>

ベンチマークである「FTSE グローバル・オールキャップ・インデックス（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象であるSBI・V・全世界株式インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

<SBI・V・全世界株式インデックス・マザーファンド>

ベンチマークである「FTSE グローバル・オールキャップ・インデックス（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ザ・バンガード・グループ・インクが運用を行う「バンガード・トータル・ワールド・ストックETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、99%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は99.5%となっております。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年1月30日～2025年1月27日)

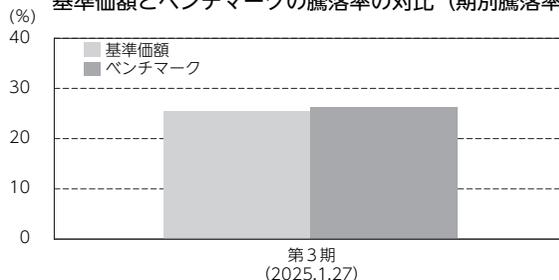
期中における基準価額は、25.4%の上昇となり、ベンチマークである「FTSE グローバル・オールキャップ・インデックス（円換算ベース）」の騰落率である26.2%の上昇を概ね0.8%下回りましたが、個別には以下のようなプラス要因、マイナス要因があります。

（マイナス要因がプラス要因を上回りました。）

主なプラス要因：ファンドとベンチマークにおいて適用される配当税率の差異

主なマイナス要因：ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジション

基準価額とベンチマークの騰落率の対比（期別騰落率）



(注) ベンチマークはFTSE グローバル・オールキャップ・インデックス（円換算ベース）です。詳細はP12をご参照ください。

分配金

（2024年1月30日～2025年1月27日）

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第3期
	2024年1月30日～ 2025年1月27日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,889

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**<当ファンド>**

引き続き、ベンチマークである「FTSE グローバル・オールキャップ・インデックス（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象であるSBI・V・全世界株式インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。また、現金比率を極力抑え連動率を高めていく所存です。

<SBI・V・全世界株式インデックス・マザーファンド>

引き続き、「バンガード・トータル・ワールド・ストックETF」を主要投資対象とし、ベンチマークである「FTSE グローバル・オールキャップ・インデックス（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行います。

お知らせ

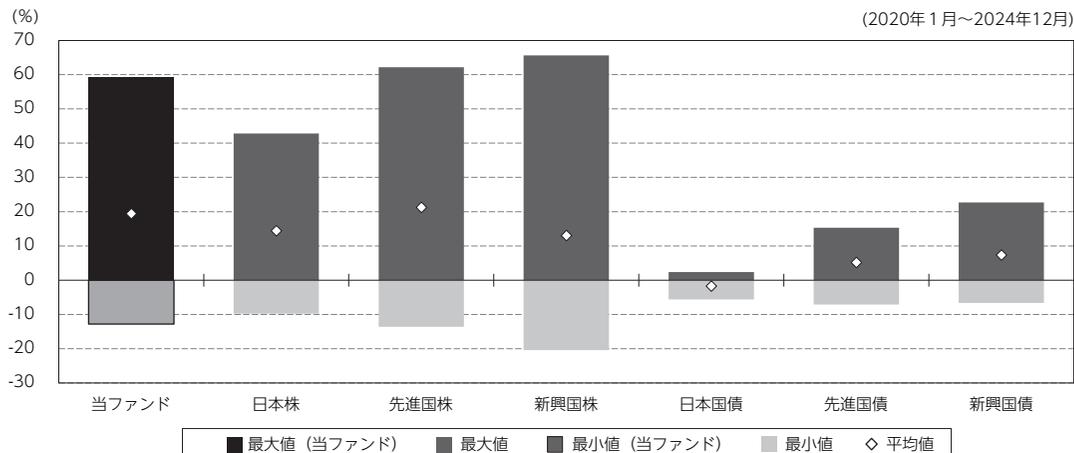
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限（設定日：2022年1月31日）	
運用方針	SBI・V・全世界株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、FTSE グローバル・オールキャップ・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド （ベビーファンド）	SBI・V・全世界株式インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド （ベビーファンド）	SBI・V・全世界株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、FTSE グローバル・オールキャップ・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、FTSE グローバル・オールキャップ・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回（毎年1月27日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	59.2	42.8	62.2	65.6	2.4	15.3	22.7
最小値	△ 12.8	△ 9.8	△ 13.6	△ 20.4	△ 5.6	△ 7.1	△ 6.6
平均値	19.4	14.4	21.2	13.0	△ 1.8	5.2	7.3

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2020年1月から2024年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては、直近1年間の騰落率データがないため騰落率の算出はファンドのベンチマーク（円換算）を用いています。したがって、ファンドの実績ではありません。なお、ベンチマークは取得可能日（2017年1月4日）以降の数値を用いて算出しています。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P12の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2025年1月27日現在)

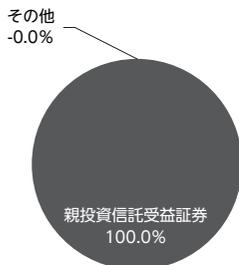
○組入上位ファンド

銘柄名	第3期末
	%
SBI・V・全世界株式インデックス・マザーファンド	100.0
組入銘柄数	1銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

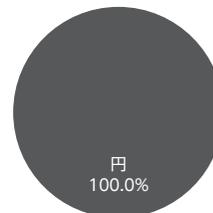
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

純資産等

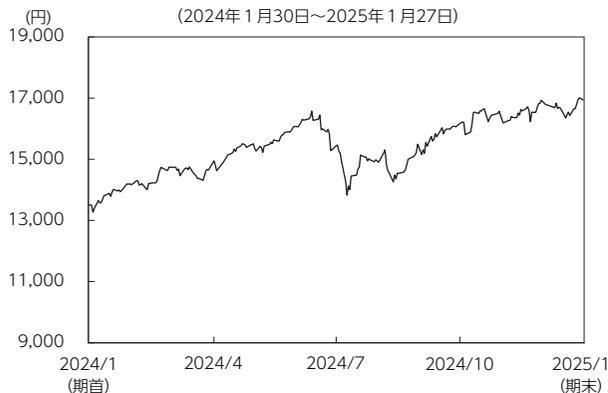
項目	第3期末
	2025年1月27日
純資産総額	52,302,164,962円
受益権総口数	30,966,877,760口
1万口当たり基準価額	16,890円

(注) 期中における追加設定元本額は9,110,763,463円、同解約元本額は4,757,294,814円です。

組入上位ファンドの概要

SBI・V・全世界株式インデックス・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万円当たりの費用明細】

(2024年1月30日～2025年1月27日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	1円 (1)	0.008% (0.008)
合計	1	0.008
平均基準価額は、15,268円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位ファンド】

(2025年1月27日現在)

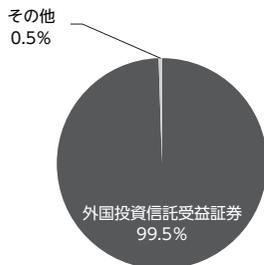
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
1	バンガード・トータル・ワールド・ストックETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	99.5%
組入銘柄数				1銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

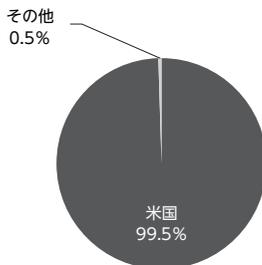
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

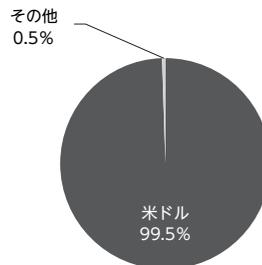
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別配分のデータは2025年1月27日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しております。

＜当ファンドのベンチマークについて＞

ベンチマークは、FTSE グローバル・オールキャップ・インデックスを委託会社にて円換算しています。

○FTSE グローバル・オールキャップ・インデックス

FTSEグローバル・オールキャップ・インデックスとは、大型株、中型株及び小型株までを網羅する全世界の株式市場の値動きを表す時価総額加重平均型の株価指数です。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

〈各指数の概要〉

日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

〈重要事項〉

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

本ファンドは、FTSEインターナショナルリミテッド（以下「FTSE」といいます。） 、 ロンドン証券取引所（以下「LSEG」といいます。）（総称して、以下「ライセンス供与者」といいます。）のいずれによっても、支援、推奨、販売または販売促進するものではありません。ライセンス供与者は、「FTSEグローバル・オールキャップ・インデックス」（以下、「本指数」といいます。）の使用及びいかなる時点における本指数値の利用から生じるいかなる結果に対しても、明示的か黙示的かを問わず、何ら表明や保証を行うものではありません。本指数はFTSEによって編集及び計算されます。ライセンス供与者は、本指数の誤りについて何人に対しても責任を負わず（過失の有無を問わず）、かつ本指数の誤りに関して通知する義務を負いません。FTSE®はLSEGの商標であり、FTSEがライセンスに基づき使用しています。